

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地											
専修学校 麻生ビューティーカレッジ		平成14年3月29日		林 宏治		〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800											
		設立認可年月日		代表者名		所在地											
学校法人麻生塾		昭和26年3月12日		理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999											
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士										
衛生	衛生専門	ビューティースペシャリスト科 ネイリストコース ※平成30年4月入学生より募集 停止				平成29年文部科学省告示 第30号	—										
学科の目的	本学科は、ネイリストに必要な知識技能を習得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。																
認定年月日	平成26年3月31日																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義	演習	実習	実験	実技										
	2 年	1,716時間	180時間	615時間	921時間	単位時間											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数												
80人の内数	6人	0人	2人	13人	15人												
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価												
長期休み	■夏季: 8月7日～9月1日 ■冬季: 12月18日～1月5日 ■春季: 2月29日～4月2日			卒業・進級 条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。												
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 補講の実施、休学、留年 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。				■課外活動の種類 無 ■サークル活動: 無												
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 在籍者無し			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)												
	■就職指導内容 求職票面接、個別指導等				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">実績無し</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	実績無し			
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数												
	実績無し																
	■卒業生数 0 人 ■就職希望者数 0 人 ■就職者数 0 人 : ■就職率 : 0 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 0 %																
	■その他 (平成 30 年度卒業生に関する (令和元年5月1日時点の情報))				■自由記述 ネイルエキスポ2018 スチューデント部門ネイルケア2位、9位 (1年生入賞)												
■中途退学者 0 名 平成30年5月1日時点において、在学者6名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者6名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因			■中退率 %														
■中退防止・中退者支援のための取組 担任と個別面談、ガイダンス記録による報告。学科会議でのクラス状況の共有。臨床心理士によるカウンセリング。保護者を交えた面談実施。 カウンセリングスキル向上のための教職員の研修参加。																	
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金、校納金、寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 平成30年度実績 0名																
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																
当該学科の ホームページ URL	https://asoikiu.ac.jp/abc/																

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容業界で即戦力として活躍できるネイリストとしての基礎をしっかり学び、2年間で高度な検定資格の取得を目指していく。また、トータルビューティを推奨する美容業界の動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しいネイル技術また、メイク・エステの基本技術が習得できることを基本に適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行い、カリキュラムに活かす。更に企業等が実習の授業を行う機会を設け、実務に即した教育を実現する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。教育課程編成委員会の意見は、校長代行が主宰する各学科のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・工夫)などにできる限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
永倉 瑞恵	一般社団法人JMA理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
松崎 成能	BOSCO	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
佐藤 武晶	(株)ぼたんや専務取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
岡本 恵子	ノムラインターナショナル(株)店舗責任者	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
林 宏治	麻生ビューティーカレッジ校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
佐伯 京子	麻生ビューティーカレッジ校長補佐	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
三並 恒功	麻生ビューティーカレッジ校長代行	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
渡邊 正明	麻生ビューティーカレッジ教務	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
菊池 佳子	麻生ビューティーカレッジ教務	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
林 理沙	麻生ビューティーカレッジ教務	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期) 年2回 7月・12月

(開催日時(実績))

第1回 平成30年7月 6日(月)15:00～16:00

第2回 平成30年12月7日(金)10:00～11:00

第1回 令和元年7月10日(水)14:00～1600

(開催日時(予定))

第2回 令和元年12月11日(水)14:00～1600

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

昨年度委員会でクレーム対応力と傾聴の低さ、数字の意識、棚卸の理解不足のご意見があり、今年度はカリキュラムとシラバスの内容を工夫した。共通課目の「接遇」の授業では社会人に必要な対応力に加え、クレーム対応のケーススタディを追加。また、ネイルコースでは学外授業として病院施設への実習を予定しており、施術する相手がお客になることで事前に想定される問題や対応力を取り入れた授業内容を組み、技術と接客を対にした効果的な実習を行う。加えて今年度は就職内定後の教育として内定者セミナーを実施することとした。実施時期は12月。内容は内定者辞退・就職後の早期退職を防ぐ為のグループディスカッションを予定している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場で求められる実践的なスキルとマインドを現役のプロから直接指導を受けられる授業体制を整え、学外における実践的な接客や施術を授業の一環として取り入れる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

株式会社TAT

株式会社TATとの覚書のもと、LCNスパブランドのデモンストレーターによるネイリストに必要な実践的スキルの講義と実習を実施する。また、ネイル業界動向や消費者の現状、現場で求められる人材像の講話。評価について本校教員と共にそれぞれが学生のネイル実習における施術プロセスおよび仕上がりについて評価を行う。両者の評価結果を協議した上で最終的に合意評価を決定する。

科目名	科目概要	連携企業等
ネイル実習	ネイル業界の動向、ネイリストに求められる人材像等を踏まえた講話に加え、SPA商品を活用した購買意欲に繋がる提案方法、最新アートや特殊アートに特化したデモンストレーションとトレーニングを実施。	株式会社TAT

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名「認定講師勉強会」(連携企業等: 日本ネイリスト協会)
期間: 平成30年8月8日 対象: 教員1名
内容: 秋期・冬期ネイル検定のジャッチ内容統一と12月ジェル検定ジャッチ内容統一を図る。

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「初年次教育セミナー2018」(連携企業等: ベネッセグループ(株)進研)アド
期間: 平成30年7月25日 対象: 教員1名
内容: 低学力層への効果的な指導方法
- ・研修名「インストラクショナルデザインⅡ」(連携企業等: 一般社団法人全国専門学校教育研究会)
期間: 平成30年8月29日 対象: 教員1名
内容: 3ポリシーについて、学科目標・教科目標の整理・学科カリキュラムの見直し、改善
- ・研修名「コーチング実践」(連携企業等: 組織デザイン・ラボ)
期間: 平成30年9月5日 対象: 教員1名
内容: 学校における学生、保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名「衛生管理指導員セミナー」(連携企業等: 日本ネイリスト協会)
期間: 令和元年6月6日 対象: 教員1名
内容: 安全で安心なネイル衛生環境の向上について薬事、環境、消防法に加えネイルサービスの注意点、取扱い、自主基準の見直し等を把握する。
- ・研修名「認定講師勉強会」(連携企業等: 日本ネイリスト協会)
期間: 令和元年8月7日 対象: 教員1名
内容: 秋期・冬期ネイル検定のジャッチ内容統一と12月ジェル検定ジャッチ内容統一を図る。

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名「手応えを感じる初年度教育の為に」(連携企業等:ベネッセグループ(株)進研)アド
期間:令和元年7月9日 対象:教員1名
内容:低学力層への効果的な指導方法

・研修名「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
期間:令和元年8月7日 対象:教員2名
内容:学生のやる気を引き出し、自発的な行動を起こさせる、学生支援スキルを高める。
学校における学生・保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ

・研修名「人権・同和問題合同研修会」(連携企業等:福岡市人権啓発センター)
期間:令和元年8月22日 対象:教員1名
内容:人権・同和問題に関する基礎的な認識と正しい理解を深める

・研修名「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
期間:令和2年2月19日 対象:教員1名
内容:学生のやる気と能力を引き出すコーチングの基本スキル(傾聴・質問・承認)について、ロールプレイングを通して学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

日々の小さな目標から達成に向け、前向きな気持ちを継続できるような教育をしてほしい。また、学生は2年間で各種検定試験、資格を取得し、コンテストなどにも挑戦してほしいとのご意見をいただいた。頂いたご意見から、検定やコンテストの時期から逆算し、補講での動機づけのスケジュールを立て、それぞれに小目標を設定し、成長を実感できるよう工夫した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
高口 司	株式会社 ダリア 営業推進本部 次長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等
奥野 祐希	ブランチヘアー博多・オーナー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生
原田 七海	株式会社田谷 TAYA天神店	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生
平田 稔典	在校生保護者	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	保護者
永末 里志	博多女子高等学校校長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	高校関係者
亀岡 正茂	舞鶴校区 町内会連合会 副会長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abc/2019/hyoka.pdf>

公表時期: 令和元年7月22日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、資格実績、就職実績
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	セミナー・コンテスト実績・アートビューティーコレクション・学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	海外研修・グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

<https://asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程ビューティースパシヤリスト科ネイリストコース)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			メイク理論	1 化粧品の定義について 2 皮膚理論全般 3 皮膚の構造 4 真皮、表皮 5 日焼けのメカニズム 6 トラブルスキン 7 人相学	1年 2年前	30		○			○		○		
○			ネイル理論	1 爪の歴史、病気、名称 2 爪の化粧品学 3 消毒法、衛生管理、 カウンセリング	1年・ 通2年・ 後	45		○			○		○		
○			エステ理論	1 解剖生理学 2 化粧品学 3 カウンセリング	1年 通	30		○			○		○		
○			栄養学	1 現代の食の問題 2 糖質 3 脂質 4 タンパク質 5 ビタミン、ミネラル 6 食物繊維、フィトケミカル 7 栄養価計算	1年 2年・ 前	45		○			○			○	
○			メイク実習	1 メイク理論及びスキンケア実習 2 ベースメイク実習 3 アイメイク実習 4 リップカラー、チークカラー実習 5 骨格修正メイク	1年 2年・ 通	120				○	○		○		
○			サロン実習	1 運営企画 2 広告、営業 3 店舗運営	1年・ 前2年・ 通	144			○		○		○		
○			ネイル実習	1 ネイル理論 2 ネイルケア 3 ネイルカラー 4 ネイルアート	1年 2年・ 通	480				○	○		○	○	○
○			エステ実習	1 エステティック理論 2 スキンケア実習 3 フェイシャルエステ実習 4 ヘッドマッサージ実習	1年・ 前2年・ 通	141				○	○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			着付け	1 小物の名称、準備、着物の歴史 2 自分に着付ける 3 人に着付ける	1年 2年・ 後	36				○	○			○	
○			ヘアアレンジ	1 ゴムの結び方、土台、面の作り方 2 編み込み（表編み、裏編み、片編み） 3 アイロン、ホットカーラーの使い方 4 逆毛、ピニング、シニヨン 5 夜会巻き	1年・ 通 2年・ 前	78				○	○		○		
○			カラーコーディネイト	1 色とトレンド 2 パーソナルカラー 3 色の分類、色相、明度、彩度 4 色の心理効果 5 配色、色とバランス	1年・ 前 2年・ 通	75				○	○			○	
○			ファッションコーディネイト	1 デザイン造形のセオリー 2 カラーコーディネイト 3 ファッションイメージの分類 4 ファブリック 5 ファッショントレンド	1年・ 後 2年・ 前	60				○	○			○	
○			ビューティーコーディネイト	1 B Cの役割 2 フロアマネジメント 3 美容知識	1年・ 後 2年・ 通	66				○	○		○		
○			スタイリング・マップ	1 色と形と素材の関係 2 個性分析	2年 通	30				○	○			○	
○			デッサン	1 鉛筆描画 2 自画像制作 3 ライフマスク制作 4 色彩学、スタイル画制作	1年・ 通 2年・ 後	111				○	○			○	
○			接遇	1 言葉遣い（敬語の使い方） 2 社会人としてのマナー（立居振舞い） 3 接客用語 4 顧客心理 5 電話対応 6 ビジネス文書	1年・ 通 2年・ 前	60				○	○			○	
○			教養基礎	1 国語（漢字、四文字熟語、文学史） 2 数学（消費税、損益算、鶴亀算） 3 時事（国際、地理、法律、経済）	2年 後	30				○	○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職実務	1 就職までの流れに関する講義 2 就職活動時の注意点に関する講義 3 履歴書及び面接対策に関する演習	1年・通2年・前	60			○		○		○		
○			グローバルシチズンベーシック	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1年2年・前	30			○		○		○		
○			総合学習	1 企業セミナーの受講 2 福祉ボランティアへの参加 3 社会貢献事業への参加	1年2年・通	45			○		○		○		
合計					20科目				1,716単位時間(単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価（60点）以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上（実習を伴う教科課目は5分の4以上）出席していること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週